

●実は日本はブログ大国

日本のブログ人口は2011年現在2,700万人と言われていて、つまり人口の2割がブログを書いているということになり、ブログ人口の密度では世界一であることは確かです。また世界のブログのうち37%が日本語で投稿されているというデータもあるようです。

ここ1~2年はFacebookやtwitterが話題になっていますが、これらが急速に普及した素地には、既に広く普及していたブログの存在があったわけです。

元々識字率が高い日本においては「文章を書く」という習慣が広く浸透していて、ブログが普及するスピードも速かったのでしょう。

●ブログを書くときの注意点

ブログは基本的にはインターネットが普及する以前の「日記」と同じで、日々の出来事を記録することで、己の行動や考えを整理しアーカイブを作るということですが、「日記」と大きく異なるのは「不特定多数に瞬時に公開できる」ということでしょう。

「日記」は自分自身で、または限られた友人や家族しか読む事はできませんが、ブログは数十人~数万人の人が読む事のできる状態になります。従ってそのとこを意識した文章を書く必要があります。これを忘れ、または無視して、特定の個人や組織への攻撃、誹謗中傷、公序良俗に反する内容になっていないか十分に注意すべきでしょう。ただし文章にすることで、鬱憤を晴らしたり、ストレスを解消したりするという効果もあるので、そういった場合はブログを「非公開」に設定して書く事もできます。

●ブログのメリット

上記した通り、ブログは数十人~数万人の人に情報を公開することになります。これは自分の考えや、その日の出来事を多くの人に共有してもらおうという、一種の達成感や満足感に繋がります。またブログには以下の主に3つの双方向コミュニケーションの機能があります。これらを活用して見ず知らずの人とのコミュニケーションも可能になります。

- ・コメント（ブログの読者が投稿した記事に対しての感想などを書き込める）
- ・トラックバック（他人のブログの記事に自身のブログへのリンクを作成する機能）
- ・RSS（ブログの更新情報を自動的に配信する機能）

またホームページとの併用で、ホームページへの閲覧者の誘導や、ホームページのアクセス数の増加に利用することもできます。さらにはネットショップ自体をブログの中に組み込み、ブログ自体をネットショップとして商品を販売するツールとして利用することもできます。

●ブログの種類

大きく分けて以下の3つになります。

1. 既存のブログサービス
2. SNSやISPに附属のブログサービス
3. CGIやPHPによるものやCMSのモジュール

1. が一般的に「ブログ」と呼ばれているサービスで「Yahoo! ブログ」「Livedoor」などがあります。その多くが無料サービスであるため、運営は広告収入によって行われているため、ブログのページ内には色々な広告が表示されます。

2. は mixi、Facebook などの SNS のサービスの中、又はネットショップ等の ISP に含まれるブログサービスで、SNS や ISP との連動を重視した場合には、上記 1. よりも効果的で管理の手間も省けます。

3. は専用にプログラムを組むということになり、相応の手間と費用がかかります。

現在では色々な種類の SNS や ISP が利用されているため、一概にどこまでが「ブログ」であるかという定義付けは難しくなっています。

●主なブログサービスの特徴

◎Ameba

主に若者に人気のブログサービスで、オプションや機能が豊富でオリジナリティーのあるカスタマイズが可能。アメーバピグというアバターサービスは人気があり、その他電子書籍サービスや SNS 的なコミュニティサービスなど、コンテンツが充実している。登録者数が多いこともあり、定期的に投稿することで自然とアクセス数も増加していく。

◎FC2

多機能でカスタマイズ性に優れたブログサービス。多くのアダルトサイトが FC2 を利用しているため、限定公開や訪問履歴などの細かい設定が可能になっている。またアクセス解析では利用プロバイダが分かるために商用としても多く利用されている。

◎JUGEM

他のブログからのインポート機能、トラックバック対策の充実、投稿日の日付が自由に設定できるなど、主に記事の投稿に関する細かな配慮がされている中級者～上級者向けのブログサービス。デザインテンプレートの種類も豊富で、トップ画面に色々な情報を載せられるなど、カスタマイズ性にも優れている。

◎Blogger

広告が表示されない唯一のブログサービス。Google が運営している極めてシンプルな構造の初心者向けブログでもあるが、コメントの投稿時にメールアドレスか URL の入力を要求されたり、アクセス解析には GoogleAnalytics との連動が必要であったり、また日本人で利用しているユーザーが少ないなど、日本人にとっては使いづらい部分も多い。

◎Yahoo! ブログ

カンタンに登録設定ができ、すぐにでも使い始められる初心者向けブログサービス。どちらかというと「子供向け」という印象が強く、インターフェイスのデザインも未完成で、広告のフォントがやたらと大きいのも気になる。またアクセス解析も「その日ごと」しか集計されないため、戦略的な使い方には不向き。

◎Livedoor

登録が至ってカンタンなブログサービス。初心者向けに親切で丁寧なインターフェイスはデザイン的にも洗練されている。投稿ページも分かりやすく整理されていて、アクセス解析等の機能も充実している。

●ブログは簡単なのか？

要は「書きたいものがあるかどうか」ということになるでしょう。先に登録手順や運営管理方法を考えてしまうと、それだけで面倒になり、利用する前からストレスを感じてしまうこととなります。

逆にどうしても書きたいものがあれば何とかあります。すでに2,700万人が利用しているものが、そんなに難しいワケはありません。

とはいっても、用語やデザインが各サービスでバラバラなのも実情です。例えば書いた記事を公開するためのボタンに書かれている文字は、

Ameba=全員に公開
FC2=記事を保存
Blogger=投稿を公開
livedoor=投稿する
Yahoo! ブログ=決定
JUGEM=投稿 or 下書き保存

といった具合で初心者にとっては何のことだか分かりません。このへんは何とかして欲しいものです。

●ブログから他のメディアへ

ブログでは他人に読んでもらうこと、定期的な更新が前提となるため、継続することがストレスになることもあり、もっと気軽に、もっと無責任に投稿できるようにしたものがtwitterになります。

またブログでは「コメント」等の機能はあるにしても、基本は発信する側を重視しているために双方向性は薄いと言えます。そこで双方向性に重点を置いたものがmixiやFacebookなどのSNSになります。

しかし双方向コミュニケーションでは、バーチャルでの人間関係の管理や、相手からの質問やサジェッションに対してのレスポンスの義務が発生し、または行き違いや勘違いによってトラブルや炎上に繋がることもあり、最近ではブログが見直される傾向もあるようです。